

第2学年 音楽科学習指導案

指導者 入山 美紀

1 題材名 「お話している音楽を楽しもう」

教材名 「かくれんぼ」(文部省唱歌)

「中国の踊り」(チャイコフスキー作曲)

組曲「くるみ割り人形」より)




2 題材の目標

- 呼びかけとこたえと曲想との関わりに気付き、互いの歌声を聴きながら情景に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。
- 音色や呼びかけ合いのよさや面白さを感じながら、曲全体を味わって聴く。
- 音色や呼びかけとこたえに着目して音楽を聴く学習に楽しんで取り組む。

3 単元の評価規準

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・呼びかけとこたえと曲想との関わりに気付き、互いの歌声を聴きながら情景に合った歌声で歌う技能を身に付けている。	・楽器の音色や旋律の呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	・楽器の音色や旋律の呼びかけ合いに興味関心をもち、音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。

4 単元指導計画(全3時間)

次	時	主な学習活動	授業改善のポイント
1	1	○リズムや旋律で模唱や交互唱を楽しむ。 ○「かくれんぼ」の返事の歌い方を工夫する。 ○友達や先生と交互唱をする。	
2	2 (本時)	○音色に着目しながら聴き、呼びかけとこたえで曲が構成されていることに気付く。	
	3	○呼びかけとこたえが生み出すよさや楽しさを感じながら聴く。	

1 / 3 時間目

本時の
目 標

・呼びかけと答えと曲想との関わりに気づき、互いの歌声を聴きながら情景に合った歌い方で歌う技能を身に付ける。

本時の
評 価

・呼びかけとこたえと曲想との関わりに気づき、互いの歌声を聴きながら情景に合った歌い方で歌う技能を身に付けている。

お話ししている歌を楽しもう

⑦
もういいよ

⑧
もういいかい

⑨
まだだよ

⑩
もういいかい

⑪
まだだよ

⑫
もういいかい

かくれんぼ
よつといで
するもの
じゃんけんぽんよ
あいこでしょ

歌詞の後半を「おに」⑧と「みんな」⑦に分けて板書する。

授業改善のポイント



興味や関心を高める

身近なわらべうたを使うことで、情景を想像しながら楽しんで授業に取り組ませる。



知識や技能を習得し、活用する

呼びかけとこたえを知り、互いの歌声を聴きながら情景に合った歌い方をさせる。

①つかむ

- リズム活動をする。
 - ・様々なリズムパターンを模倣させる。
- 本時のねらいを知る。
 - ・「おはなししている音楽」があることを知らせる。

②考える

- 「かくれんぼ」の返答部分の歌い方を考える。
 - ・かくれんぼの情景を想像させる。
 - ・2回ある「まあだよ」と最後の「もういいよ」の歌い方を考えさせる。

③学び合う

- 発表する。
 - ・何人かの児童に発表させる。
 - ・なぜそう歌ったのかという理由も発表させる。

④まとめる

- 自分の工夫した歌い方で歌う。
 - ・教師対全体、児童対全体、ペアなどで歌わせる。

⑤振り返る

- 振り返る。
 - ・呼びかけとこたえについて確認する。
- 次時の予告をする。
 - ・オーケストラの演奏を聴くことを伝え、期待をもたせる。

2 / 3 時間目（本時）

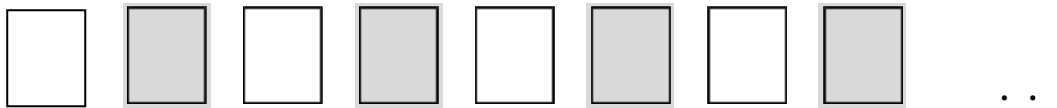
本時の
目 標

・音色や呼びかけとこたえに着目して音楽を聴く学習に楽しんで取り組む。

本時の
評 価

・楽器の音色や旋律の呼びかけ合いに興味関心を持ち、音楽を聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。

お話ししている音楽を楽しもう



<どんな音？>

ピッコロ・・・音が高い、ふえ、ピロピロしてる
バイオリン・・・ポンポン、そんなに音は高くない

ピッコロとバイオリンの
絵カードを、児童の意見
に沿って黒板に貼る。

授業改善のポイント



思考を表現に置き換える

聴き取ったことを体の動きで表現し、呼びかけとこたえに気付かせる。



興味や関心を高める

体を動かしながら聴くことで、呼びかけ合いに気付きながら楽しんで曲を聴くことができるようにさせる。

①つかむ

②考える

③学び合う

④まとめる

⑤振り返る

- リズム活動をする。
- 本時のねらいを知る。
- ・おはなししている音楽を聴くことを知らせる。
- 「中国の踊り」の一部分を聴く。
- ・鑑賞時の約束を確認する。

- 音色をよりどころとして呼びかけとこたえを聴き取る。
- ・どんな音色の楽器が会話しているのかを聴くよう伝える。
- ・楽器の演奏のまねをしながら聴かせる。

- 聴き取った楽器の音色に合わせて立つ。
- ・それぞれの楽器が演奏しているところで立つよう指示する。
- ・ペアやグループなどで分かれて立つよう指示する。
- 最後を聴き取る。
- ・最後の部分は同時に演奏していることに気づかせる。

- 呼びかけとこたえがあることによってお話ししているような曲になることを確認する。
- ・絵カードを見ながら曲全体を聴かせる。

- 振り返る。
- 次時の予告をする。
- ・曲全体を聴くことを伝える。

3 / 3 時間目

本時の
目標


- ・音色や呼びかけ合いのよさや面白さを感じながら、曲全体を味わって聴く。

本時の
評価


- ・楽器の音色や旋律の呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。

お話ししている音楽を楽しもう

授業改善のポイント

 互いの考えを比較する

友達の感想を読み合い、様々な感じ方があることやよい表現や目の付け所に気付いたりし、自分の考えに生かすようにさせる。

 思考して問い続ける

多くの曲に呼びかけとこたえが含まれていることに気づき、他の曲に対しても興味関心をもたせる。

①つかむ ②考える ③学び合う ④まとめる ⑤振り返る

○リズム活動をする。

- ・呼びかけとこたえに入るような活動を入れる。

○前時の学習を踏まえ、曲を聴く。

- ・呼びかけとこたえに注目して聴くよう伝える。

○曲を聴き、感想を書く。

- ・聴き取ったことをワークシートに書かせる。

○ともだちの感想を知る。

- ・「感想旅行」と称し、多くの国（ともだちの感想）へ旅行するよう声かけする。
- ・よいと思った感想や表現を自分の感想に付け足したり参考にしたりしてよいことを伝える。

○感想を発表する。

- ・何人かの児童に発表させる。

○曲の雰囲気味わって聴く。

- ・音色や呼びかけとこたえも意識しながら曲全体を味わって聴くよう伝える。

○呼びかけとこたえの曲を歌ったり聴いたりする。

- ・思いつく曲を出し合わせる。
- ・多くの曲に呼びかけとこたえが使われていることを知らせる。